

# 令和 4 年度事業報告書

第 2 3 期

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 萌生会

鳥取県西伯郡伯耆町長山 1 6 1 番地 1

## 1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 萌生会
法人認可年月日	平成12年10月11日
認可番号	鳥取県（指令）福保2第1号
法人登記年月日	平成12年10月26日
代表者職・氏名	理事長 篠原 一郎
主たる事務所の所在地	鳥取県西伯郡伯耆町長山161番地1
電話番号 / FAX 番号	電話：0859-39-9700 / FAX：0859-39-9702
ホームページアドレス	<a href="https://www.houki-hp.com/">https://www.houki-hp.com/</a>
従業員数	91名（令和5年3月31日現在） 常勤77名・非常勤14名、男性25名・女性66名

## 2. 理 念

私たちは、皆様が和やかに共に輝いて暮らされるよう支えてゆくことを目指します。

## 3. 沿 革

平成12年10月	社会福祉法人萌生会 設立
平成13年 8月	特別養護老人ホームことぶき（従来型：定員50名）開設 ショートステイことぶき（従来型併設型：定員10名）開設 デイサービスセンターことぶき（定員：20名）開設 ホームヘルプステーションことぶき 開設 ケアプランセンターことぶき 開設
平成14年 9月	グループホームなごみ（2ユニット：定員18名）開設
平成14年12月	NHK歳末たすけあい義援金受配により、キーボード、グラウンドゴルフセット等レクリエーション器具を整備
平成15年 3月	日本財団助成事業により送迎用車両三菱ローザを整備
平成17年 2月	NHK歳末たすけあい義援金受配により、デジタルカメラ、プリンタ、パソコンの画像編集機器を整備
平成17年 6月	日吉津村の涌谷清様より不動産（土地、建物）の寄贈を受ける
平成17年 9月	鳥取ダイハツを窓口自動車総連の「福祉カンパ」によりこたつセット、シルバーカー、車椅子の寄贈を受ける
平成17年10月	寄贈を受けた建物で逆デイサービスの試みを開始（仮称 慈光苑）
平成17年10月	職員宿舎「妙見寺ハイツB棟（全8戸）」完成、入居開始
平成18年 4月	ショートステイことぶき、デイサービスセンターことぶき、ホームヘルプステーションことぶきにおいて介護予防サービスを併設、グループホームなごみ地域密着型サービスのみなし事業所へ
平成19年 3月	日本財団助成事業により送迎用車両トヨタラクティスを整備

平成19年	6月	ショートステイことぶきにて障害福祉サービス（特養空床利用型短期入所）の事業所指定を受ける
平成19年	10月	伯耆町より障害者（児）一時預かり（入浴介助付）事業を受託
平成20年	4月	特別養護老人ホームことぶき内に事業所内託児施設ことぶき託児所（職員向け定員：10名）開設
平成20年	8月	特別養護老人ホームことぶき及び、ショートステイことぶき、デイサービスセンターことぶき、ホームヘルプステーションことぶき、ケアプランセンターことぶき、介護保険事業所の指定を更新
平成20年	9月	グループホームなごみ、介護保険事業所の指定を更新
平成20年	10月	「慈光苑」から「共生ホームすまいる」に名称変更し介護保険の事業所指定（通所介護、介護予防通所介護）を受ける。加えて障害福祉サービスの基準該当生活介護及び基準該当児童デイサービス事業者として日吉津村に登録
平成20年	11月	共生ホームすまいる事業開始
平成21年	3月	共生ホームすまいる、障害福祉サービスの基準該当生活介護及び基準該当児童デイサービス事業者として米子市に登録
平成21年	3月	日本財団助成事業により訪問用車両スズキアルトを整備
平成21年	8月	共生ホームすまいる、障害福祉サービスの基準該当生活介護及び基準該当児童デイサービス事業者として境港市及び南部町に登録
平成23年	8月	南部箕蚊屋広域連合より、日吉津村圏域における平成25年度供用開始の地域密着型小規模特別養護老人ホーム開設の指定予定事業者として決定を受ける
平成24年	3月	日本財団助成事業により送迎用車両トヨタハイエースを整備
平成24年	3月	ホームヘルプステーションことぶき 廃止
平成24年	4月	デイサービスセンターことぶき、ショートステイことぶき、介護予防サービス事業所の指定更新を受ける
平成24年	4月	児童福祉法の一部改正により共生ホームすまいる、障害福祉サービスの基準該当児童デイサービス事業者の登録が放課後等デイサービス及び児童発達支援に変更
平成25年	4月	特別養護老人ホームきずな（地域密着ユニット型：定員29名）開設 ショートステイきずな（ユニット型併設型：定員10名）開設
平成25年	4月	デイサービスセンターことぶき利用定員を変更（20名から10名定員へ）
平成25年	6月	ショートステイことぶき、障害福祉サービス事業所の指定を更新
平成25年	7月	「共生ホームすまいる」から「デイサービスセンターきずな」に名称変更（障害福祉サービス等の基準該当サービス事業所の登録を廃止、同時に鳥取県ふれあい共生ホームの届出を廃止）

平成26年	8月	特別養護老人ホームことぶき及び、ショートステイことぶき、デイサービスセンターことぶき、ケアプランセンターことぶき、介護保険事業所の指定を更新
平成26年	9月	グループホームなごみ、介護保険事業所の指定を更新
平成26年	10月	デイサービスセンターきずな、介護保険事業所の指定を更新
平成27年	9月	ケアプランセンターことぶきの業務を伯耆中央病院居宅介護支援事業所に移管、事業所指定を廃止
平成27年	12月	デイサービスセンターきずな利用定員を変更(20名から18名定員へ)
平成28年	4月	理事長交代(初代 篠原顕一郎氏より第2代 篠原一郎氏へ)
平成28年	4月	デイサービスセンターことぶき、及びデイサービスセンターきずな、地域密着型通所介護事業所のみなし指定を受ける
平成29年	10月	デイサービスセンターきずな利用定員を変更(18名から10名定員へ)
平成30年	3月	別養護老人ホームことぶきで労働局の職場定着支援助成金(介護福祉機器等助成)を受け、浴室を改修し特殊浴槽を整備
平成31年	4月	特別養護老人ホームきずな、ショートステイきずな、介護保険事業所の指定を更新
平成31年	4月	デイサービスセンターことぶき利用定員を変更(10名から18名定員へ)
令和 元年	6月	ショートステイことぶき、障害福祉サービス事業所の指定を更新
令和 元年	7月	鳥取県が行う公共事業(長山地区急傾斜地崩壊対策工事)用地収用のため、法人所有の土地5筆を分筆のうえ譲渡
令和 元年	10月	デイサービスセンターきずな 休止
令和 2年	7月	ショートステイきずな 休止
令和 2年	8月	特別養護老人ホームことぶき及び、ショートステイことぶき、デイサービスセンターことぶき介護保険事業所の指定を更新
令和 2年	9月	グループホームなごみ、介護保険事業所の指定を更新
令和 4年	5月	老人保健施設寿楽荘閉館、指定廃止に伴い、医療法人萌生会より職員を受け入れ

～ 現在に至る

#### 4. 事業内容

##### ○第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームことぶきの設置経営

特別養護老人ホームきずなの設置経営

## ○第二種社会福祉事業

老人デイサービス事業（デイサービスセンターことぶき）

（デイサービスセンターきずな 令和元年10月より休止）

老人短期入所事業（ショートステイことぶき）

（ショートステイきずな 令和2年7月より休止）

認知症対応型老人共同生活援助事業（グループホームなごみ）

障害福祉サービス事業（ショートステイことぶき）

## 5. 事業区分、拠点区分及びサービス区分

### ○社会福祉事業区分

#### ① 溝口（ことぶき・なごみ）拠点区分

ア 法人本部

イ 特別養護老人ホームことぶき

ウ ショートステイことぶき

エ デイサービスセンターことぶき

オ グループホームなごみ

#### ② 日吉津（きずな）拠点区分

ア 特別養護老人ホームきずな

イ ショートステイきずな

ウ デイサービスセンターきずな

## 6. 地域における公益的な取組

### ○低所得者の介護保険サービスの利用者負担減免

対象者4名に対し、特養の居住費を減額

### ○利用者家族等に見られる生活困窮者に対する相談支援及び行政機関との連携

## 7. 拠点区分、サービス区分ごとの状況

### ①溝口（ことぶき・なごみ）拠点

#### ア【法人本部】

#### ■ 事業報告概要 ■

- ・ 顧問会計事務所による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務の実施 決算指導及び月次監査の実施（年度を通じて）

- ・ 監事監査の実施（5月）
- ・ 第1回理事会開催に代わる決議の省略（5月）
- ・ 定時評議員会開催に代わる決議の省略（6月）
- ・ 資産の総額変更登記（6月）
- ・ 第2回理事会開催に代わる決議の省略（3月）
- ・ 法人職員向け社宅「妙見寺ハイツB棟（全8戸）」の管理

■ 役員等の状況 ■ （令和5年3月31日現在）

理事（現員 / 定数） 6名 / 6名 （欠員0）  
 監事（現員 / 定数） 2名 / 2名 （欠員0）  
 評議員（現員 / 定数） 7名 / 7名以上9名以内 （欠員0）

■ 理事会決議の省略の状況 ■

（提案日） 決議があったと みなされた日		同意者/決議に加わ れる理事 異議なしの者/監事	審議事項等
第1回	令和4年 （5月24日） 5月30日	（理事） 6 / 6 （監事） 2 / 2	・ 令和3年度事業報告及び決算の承認 ・ 定時評議員会の開催に代わる決議の省略の提案 ・ 令和4年度第1次補正予算案
第2回	令和5年 （3月4日） 3月17日	（理事） 6 / 6 （監事） 2 / 2	・ 令和4年度第2次補正予算案 ・ 令和5年度事業計画及び予算案 ・ 理事長の職務執行状況報告

■ 評議員会決議の省略の状況 ■

（提案日） 決議があったと みなされた日		同意者/決議に加わ れる評議員	審議事項等
第1回	令和4年 （6月5日） 6月18日	（評議員） 7 / 7	・ 計算書類及び財産目録の承認 （令和3年度事業報告及び決算）

■ 社会福祉法人指導監査について ■

令和4年度はコロナ禍により定期監査の実施なし

## イ【特別養護老人ホームことぶき】

### 第1種社会福祉事業 特別養護老人ホーム

#### ■ 事業報告概要 ■

コロナ禍3年目となる中、医療法人萌生会の事業再編に伴い、老人保健施設寿楽荘が令和4年4月末をもって事業廃止。寿楽荘入所様より特養入所が望ましい方について、ことぶきへの転入所を支援した結果11名の方が入所。あわせて、職員についても社会福祉法人への移籍希望者を募り20名中19名をことぶきで受け入れた。

これにより、定員に対する稼働率の回復と職員の拡充を図り、健全な事業運営の基盤再構築に取り組んだ1年となった。

一方、新型コロナ第8波の中12月にはクラスター発生にみまわれ、約1か月にわたり（令和5年1月4日クラスター解除）その対応に追われることとなった。

従来型介護老人福祉施設：定員50名

#### ・居室の状況

多床室（4人室）×10室（うち1室は2人） 居住費 855円/日  
従来型個室×12室 居住費 1,171円/日

#### ・利用実績

			(男性 / 女性)
平均利用者数(人) :	45.9 / 日		8.1 / 37.8
新規入所者数(人) :	27		5 / 22
退所者数(人) :	19		9 / 10
介護度別利用延べ人数(人)	前年度比		(男性 / 女性)
要介護2 :	334 ▲342人		0 / 334
要介護3 :	1,497 +888人		261 / 1,236
要介護4 :	5,582 +279人		1,030 / 4,552
要介護5 :	9,369 +1,861人		1,675 / 7,694
平均介護度 :	4.42 (0.03 ↑)		
延べ入院者数 :	391 ▲277人		243 / 148
利用延べ人数 :	16,782 +2,686人		2,966 / 13,816
	(男女比)		17.7% : 82.3%
月間平均(人) :	1,398.5 +223.8人		
平均稼働率 :	91.9% +14.7%		
[ 利用延べ人数 / (定員×稼働日数) ]			

- ・職員配置の状況（併設ショートを含む、令和5年3月31日現在）
  - 施設長1名（兼務） 介護支援専門員兼生活相談員1名
  - 介護支援専門員2名（非常勤1名） 嘱託医1名
  - 看護職員3名 介護職員27名（非常勤3名） 機能訓練指導員1名
  - 管理栄養士1名 栄養士1名 介護助手3名（非常勤2名）
  - 事務員3名（非常勤1名） 営繕職員2名

- ・職員による委員会活動等

毎月定期開催 全体会  
 リーダー会  
 安全対策委員会  
 身体拘束廃止、虐待防止委員会  
 感染予防委員会  
 入浴・排泄委員会  
 環境委員会

対象月開催 会食会委員会（コロナ禍により中止）  
 年間行事 花回廊委員会（コロナ禍により中止）  
 夏祭り委員会（コロナ禍により中止）  
 敬老会委員会  
 もちつき委員会（コロナ禍により中止）

上記の他、桜祭り、保育所との交流会（七夕交流、出前発表会）、新春祈願祭（獅子舞）等の行事がコロナ禍により中止となる

- ・職員研修の実施

外部研修 高齢者施設における新型コロナウイルス感染対策研修会  
 （米子市文化ホール 鳥取県長寿社会課）  
 介護専門職研修会  
 （米子市さなめホール、オンライン 鳥取県社会福祉協議会）  
 社会福祉施設における労働災害防止のための説明会  
 （米子地方合同庁舎 米子労働基準監督署）  
 認知症介護基礎研修  
 （eラーニング 認知症介護研究・研修仙台センター）

内部研修 コンプライアンス研修  
 身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修  
 感染予防研修  
 移乗講習会  
 新型コロナウイルス感染症の対応模擬訓練



排泄・おしめ交換研修  
 ターミナルケア研修  
 認知症ケア研修 等

・防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、以下のとおり訓練を実施  
 火災・総合訓練 10月21日、3月23日（夜間想定）

ウ【 ショートステイことぶき 】

第2種社会福祉事業 老人短期入所事業及び障害福祉サービス事業

■ 事業報告概要 ■

コロナ禍3年目となる中、医療法人萌生会の事業再編に伴い、老人保健施設寿楽荘が令和4年4月末をもって事業廃止。寿楽荘職員の社会福祉法人への移籍希望者を募り20名中19名をことぶき（本体の特養に含め）で受け入れた。

新型コロナ第8波の中、11月に利用者様より陽性者発生。また、12月には本体の特養でクラスター発生にみまわれ、以降ご利用キャンセル等相次ぎ稼働状況を大きく悪化させた。

従来型併設型（介護予防）短期入所生活介護：定員10名  
 障害福祉サービス短期入所（特養空床利用型）

・居室の状況

多床室（2人室）×4室 滞在費 1,055円/日  
 多床室（4人室）×1室（4床の内2床） 滞在費 855円/日

・利用実績

介護保険事業				（男性 / 女性）	
平均利用者数（人）：	1.9 / 日			0.2 /	1.7
介護度別利用延べ人数（人）		前年度比		（男性 / 女性）	
要支援2	： 18	+18人		0 /	18
要介護1	： 244	▲180人		0 /	244
要介護2	： 342	▲103人		12 /	330
要介護3	： 28	+1人		0 /	28
要介護4	： 71	+53人		71 /	0
要介護5	： 6	+6人		0 /	6

平均介護度： 1.88 (0.02 ↓)  
 利用延べ人数： 709 ▲205人 83 / 626  
 (男女比) 11.7% : 88.3%  
 延人数月間平均(人)： 59.0 ▲17.2人  
 実人数月間平均(人)： 2.6 ▲8.4人  
 平均稼働率 [ 利用延べ人数 / (定員 × 稼働日数) ] : 19.4% ▲5.6%

#### 障害福祉サービス事業

利用延べ人数： 7人 (前年度比▲1人) 実利利用者： 1人 (前年度比±0人)

#### ・職員配置の状況 (令和5年3月31日現在)

本体の特養ことぶきの配置職員に含まれる

・職員による委員会活動等、職員研修の実施、防災計画については本体の特養と一体的に運営されている。

## エ【 デイサービスセンターことぶき 】

### 第2種社会福祉事業 老人デイサービス事業

#### ■ 事業報告概要 ■

秋口以降、市中では新型コロナの第8波が猛威を振るったが、事業所内での感染対策及びフロアの異なる特養の徹底したクラスター対策の結果、稼働状況を大きく悪化させることはなかった。(年間通してみれば若干の改善であった。)

#### 地域密着型通所介護 (特養併設)、日常生活支援総合事業 (通所型サービス)

: 定員18名

・利用実績			(男性 / 女性)
平均利用者数(人) :	9.6 / 日		2.4 / 7.2
介護度別利用延べ人数(人)		前年度比	(男性 / 女性)
要支援1 :	135	+ 10人	51 / 84
要支援2 :	408	+ 22人	36 / 372
要介護1 :	1,024	+ 82人	469 / 555
要介護2 :	881	▲ 44人	91 / 790
要介護3 :	402	+ 57人	0 / 402
要介護4 :	115	+ 3人	91 / 24

平均介護度： 1.6 ( ± 0 ) 支援1を介護0.3、支援2を介護0.5に換算  
 利用延べ人数： 2,965 +130人 738 / 2,227  
 ( 男女比 ) 24.9% : 75.1%  
 延人数月間平均 (人) : 247.1 + 12.4人  
 実人数月間平均 (人) : 27.9 + 2.8人  
 平均稼働率 [ 利用延べ人数 / ( 定員 × 稼働日数 ) ] : 53.1% + 2.6%

- ・職員配置の状況 (令和5年3月31日現在)  
 管理者1名 (兼務) 生活相談員2名 (常勤兼務1名)  
 看護職員兼機能訓練指導員2名 (非常勤兼務2名)  
 介護職員3名 (常勤兼務1名、非常勤1名)
- ・職員研修の実施、防災計画については特養ことぶきと一体的に運営
- ・法人グループ内デイケア事業所との通所ミーティングを毎月開催
- ・運営推進会議  
 利用者様、地域の民生委員、地域包括支援センターの保健師、他の地域密着型サービスの利用者様家族の参加をいただき、概ね6か月に1度の頻度で2回開催  
 開催日 : 9月29日、3月23日

## オ【グループホームなごみ】

### 第2種社会福祉事業 認知症対応型老人共同生活援助事業

#### ■ 事業報告概要 ■

コロナ禍3年目となる中、医療法人萌生会の事業再編に伴い、老人保健施設寿楽荘が令和4年4月末をもって事業廃止。寿楽荘職員の社会福祉法人への移籍希望者を募り20名中1名をなごみで受け入れた。

秋口以降、市中では新型コロナの第8波が猛威を振るったが、事業所内での徹底した感染対策の結果、稼働状況大きく悪化させることはなかった。(年間通してみればほぼ横ばいであった。)

認知症対応型共同生活介護 (短期利用型含む) : 定員18名 (2ユニット)

- ・居室の状況  
 個室 × 18室 (全室個室) 居住費 1,180円 / 日

・利用実績			( 男性 / 女性 )
平均利用者数 (人) :	17.3 / 日		3.7 / 13.6
新規入居者数 (人) :	9		2 / 7
退所者数 (人) :	8		2 / 6
介護度別利用延べ人数 (人)	前年度比		( 男性 / 女性 )
要介護1 :	977	▲322人	0 / 977
要介護2 :	2,467	+685人	183 / 2,284
要介護3 :	1,428	▲319人	912 / 516
要介護4 :	1,501	+121人	365 / 1,136
要介護5 :	18	▲113人	0 / 18
平均介護度 :	2.5	( 0.1 ↓ )	
延べ入院者数 :	72	+66人	0 / 72
利用延べ人数 :	6,319	▲20人	1,460 / 4,859
		( 男女比 )	23.1% : 76.9%
月間平均 (人) :	526.6	▲1.6人	
平均稼働率 :	96.1%	▲0.4%	
[ 利用延べ人数 / ( 定員 × 稼働日数 ) ]			

・職員配置の状況 (令和5年3月31日現在)

管理者1名 (常勤兼務) 計画作成担当者2名 (常兼務勤)  
 介護職員13名 (常勤兼務3名、非常勤1名)

・職員研修の実施

外部研修 認知症介護基礎研修  
 (eラーニング 認知症介護研究・研修仙台センター)

内部研修 認知症ケアに関する職員研修会 (毎月開催)  
 コンプライアンス研修

身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修  
 感染予防研修  
 認知症ケア研修  
 新型コロナウイルス感染症の対応模擬訓練  
 緊急時の対応 (実技演習) 等

・防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、以下のとおり訓練を実施  
 火災・総合訓練 10月21日、3月23日

- ・「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」第97条第7項等に規定する自己評価・外部評価の実施

自己評価の実施 11月

外部評価の実施（2年に1回） 2月7日

- ・運営推進会議

利用者様家族、地域の民生委員、地域包括支援センターの保健師等の参加をいただき、概ね2か月に1度の頻度で6回開催

開催日 : 5月26日、7月28日、9月29日、  
11月24日、1月26日、3月23日

## ②日吉津（きずな）拠点

### ア【特別養護老人ホームきずな】

#### 第1種社会福祉事業 特別養護老人ホーム

#### ■ 事業報告概要 ■

コロナ禍3年目となる中、医療法人萌生会の事業再編に伴い、老人保健施設寿楽荘が令和4年4月末をもって事業廃止。寿楽荘入所様より特養入所が望ましい方について、きずなへの転入所を支援した結果3名の方が入所。

一方、新型コロナ第8波の中12月にはクラスター発生にみまわれ、約1か月にわたり（令和5年1月16日クラスター解除）その対応に追われることとなった。

ユニット型サテライト型介護老人福祉施設：定員29名（3ユニット）

- ・居室の状況

ユニット型個室×29室 居住費 2,006円/日

- ・利用実績 (男性 / 女性)

平均利用者数(人) : 26.5/日 3.5 / 23.0

新規入所者数(人) : 10 1 / 9

退所者数(人) : 10 4 / 6

介護度別利用延べ人数(人) 前年度比 (男性 / 女性)

要介護3 : 931 ▲300人 191 / 740

要介護4 : 5,927 +890人 1,034 / 4,893

要介護5 : 2,812 ▲357人 63 / 2,749

平均介護度 : 4.19 (0.01↓)

延べ入院者数 : 244 ▲91人 62/182  
 利用延べ人数 : 9,670 +531人 1,288/8,382  
 (男女比) 13.3% : 86.7%  
 月間平均(人) : 805.8 +44.2人  
 平均稼働率 : 91.3% +5.0%  
 [ 利用延べ人数 / (定員×稼働日数) ]

・職員配置(令和5年3月31日現在)

施設長1名(兼務) 介護支援専門員1名  
 生活相談員1名 看護職員兼機能訓練指導員1名  
 看護職員1名(非常勤1名) 介護職員17名(非常勤4名)  
 宿直員1名 事務員1名 嘱託医1名

・職員による委員会活動等

毎月定期開催 全体会  
 リーダー会  
 安全対策委員会  
 身体拘束廃止、虐待防止委員会  
 感染予防委員会  
 入浴・排泄委員会  
 摂食委員会

・職員研修の実施

外部研修 高齢者施設における新型コロナウイルス感染対策研修会  
 (米子市文化ホール 鳥取県長寿社会課)  
 介護専門職研修会  
 (オンライン 鳥取県社会福祉協議会)  
 認知症介護基礎研修  
 (eラーニング 認知症介護研究・研修仙台センター)

内部研修 コンプライアンス研修  
 身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修  
 感染予防研修  
 新型コロナウイルス感染症の対応模擬訓練  
 リスクマネジメント研修  
 認知症ケア研修  
 緊急時の対応(実技演習) 等

・防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、以下のとおり訓練を実施

火災・総合訓練 10月14日、3月18日

・運営推進会議

利用者様家族、地域の民生委員、自治会長、役場福祉課長等の参加をいただき、概ね2か月に1度の頻度で6回開催のところ、※今年度はコロナ禍の感染防止対策のため開催に代えて報告書の送付後意見聴取とした。

開催日 : 5月25日、7月27日、9月28日、11月30日、  
3月29日 なお、1月はクラスター発生の影響により中止

・老人福祉施設指導監査（老人福祉法第18条に基づく監査）

実施日 : 2月24日

鳥取県西部総合事務所県民福祉局共生社会推進課

## イ【 ショートステイきずな 】

### 第2種社会福祉事業 老人短期入所事業

併設型ユニット型（介護予防）短期入所生活介護：定員10名（1ユニット）

令和4年度 休業

## ウ【 デイサービスセンターきずな 】

### 第2種社会福祉事業 老人デイサービス事業

地域密着型通所介護（特養併設）、日常生活支援総合事業（通所型サービス）

令和4年度 休業

以上

## 令和4年度事業活動及び収支決算の概要

### 令和4年度の状況

- 各事業所、施設の稼働状況は「事業報告書及び付属明細書のサービス別利用者実績状況表」のとおり
- 日吉津拠点の併設ショートステイ事業所及びデイサービス事業所は今期も休止
- 医療法人の老人保健施設寿楽荘の事業廃止（令和4年4月末）に伴い合計20名の職員を溝口拠点で受入れ（拠点区分人件費 前年度決算額比+3,271万円）
- 介護職員の増員により特養ことぶきの入所稼働率回復（91.9% +14.6%）
- 特養ことぶき、特養きずなの両施設で新型コロナのクラスター発生（令和4年12月）、以降ショートことぶきの稼働にも影響が及ぶ（4～11月の平均稼働率27.2% →12～3月3.7% △23.5%）
- 賞与の支給基準額の引き下げ（夏季1.5→1.35か月分、冬季2.5→2.15か月分となり、トータルで12.5%のダウン）ただし理事長報酬は満額支給
- 固定資産の入替え等の取得発生
  - 非接触型面会用ノートパソコン2台購入 269,940円（特養ことぶき）
  - 〃 〃 269,940円（特養きずな）
  - 自動高圧蒸気滅菌器1台入替え購入 286,000円（特養ことぶき）
  - ルームエアコン1台取替工事 143,482円（特養きずな）
  - 天井カセット型パッケージエアコン1基取替工事 880,000円（GHなごみ）
  - ガス給湯器1台取替工事 147,600円（GHなごみ）
- 固定資産の処分に伴う除却損の計上
  - 機械及び装置 2件、車両及び運搬具 1件、器具及び備品 48件 合計△51円
- 法人指導監査の実施なし
- 日吉津（きずな）拠点より溝口（ことぶき・なごみ）拠点に経常経費として400万円を資金繰入

### 理事長の職務執行の状況

- 新型コロナ感染予防対策の徹底、及びクラスター発生時における対策本部の指揮
- 事業継続計画（BCP）策定に対しての指揮
- 各施設及び事業所職員に対する能力考課の実施（6月、11月）
- 長山地区急傾斜地崩壊防止対策事業の協議（9月、1月、3月）
  - なごみ裏山を含む第一区工事の完了、令和5年5月にずれ込む見通し
  - 令和5年度はことぶき裏山を含む第二区工事の着工が計画
- 今年度第2次補正予算（案）の調製（2～3月） 等々



## 収支決算状況

令和5年3月調整の最終補正予算において、法人全体での当期資金収支差額合計を△2,846,611円と計上していたが、決算額では1,779,092円となった。(前年度決算額△12,728,592円)

事業活動収入で1,864,099円収入増(予算額比、以下同じ)【主として介護保険事業収入、ことぶき・なごみ+135万円、きずな+46万円】、また事業活動支出で2,757,466円支出減【ことぶき・なごみ：人件費△83万円、事業費△80万円、事務費△18万円、その他の支出△1万円】【きずな：人件費△41万円、事業費△46万円、事務費△7万円、利用者負担軽減額+2万円】となり、事業活動収支は4,625,703円改善の1,779,902円(内訳：ことぶき・なごみ△133万円：前年度決算額比+283万円、きずな803万円：前年度比+1,059万円)となった。

事業活動収入	504,405,710円	前年度決算額比 +63,887,063円
	(内訳：ことぶき・なごみ+4,907万円、きずな+1,481万円)	
事業活動支出	497,696,722円	前年度決算額比 +50,450,551円
	(内訳：ことぶき・なごみ+4,623万円、きずな+422万円)	
収支差額 ①	<u>6,708,988円</u>	前年度決算額比 +13,436,512円

施設整備収入	490,000円	前年度決算額比 +490,000円
	(ことぶき、きずな：非接触型面会支援補助金 各245,000円)	
施設整備支出	5,680,962円	前年度決算額比 △122,918円
	(ことぶき、なごみ：ノートパソコン27万円、滅菌器28万円、パッケージエアコン88万円、ガス給湯器15万円)	
	(きずな：借入金償還368万円、ノートパソコン27万円、ルームエアコン14万円)	
収支差額 ②	<u>△5,190,962円</u>	前年度決算額比 +612,918円

その他活動収入	261,066円	前年度決算額比 +135,006円
	(火災保険前払費用償還金26万円)	
その他活動支出	0円	前年度決算額比 △323,248円
収支差額 ③	<u>261,066円</u>	前年度決算額比 +458,254円

以上①②③より、当期資金収支差額合計は1,779,092円(前年度比+14,507,684円)となり、当期支払資金残高は305,772,072円であった。

※ 詳細は「法人単位、事業区分、及び拠点区分ごとの計算書類」のとおり

# 直近3年（事業年度）比較 サービス別 利用者実績状況表

※ 特養及びGHの各年度の確定稼働率は、入居者数を除いて算出

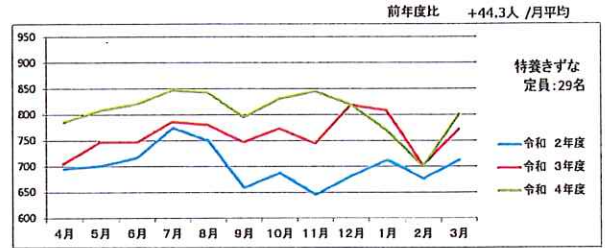
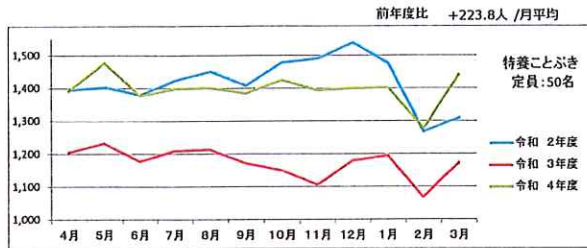
## 特養ことぶき、特養きずな

特養ことぶき	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均(人)	稼働率
令和2年度	1,397	1,405	1,381	1,426	1,453	1,410	1,480	1,492	1,540	1,477	1,269	1,311	1,420.1	93.4%
令和3年度	1,206	1,234	1,178	1,211	1,215	1,173	1,152	1,108	1,180	1,196	1,069	1,174	1,174.7	77.2%
令和4年度	1,394	1,479	1,378	1,399	1,402	1,385	1,426	1,395	1,401	1,403	1,278	1,442	1,398.5	91.9%

14.6%

特養きずな	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均(人)	稼働率
令和2年度	696	702	718	775	751	660	688	646	682	713	677	713	701.8	79.6%
令和3年度	706	748	747	787	781	748	774	745	819	809	703	772	761.6	86.3%
令和4年度	786	809	821	848	843	796	831	845	820	770	700	801	805.8	91.3%

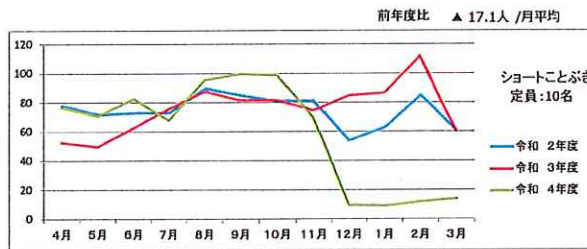
4.9%



## ショートことぶき

ショートことぶき	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均(人)	稼働率
令和2年度	78	72	73	73	90	85	81	81	54	63	85	61	74.7	24.5%
令和3年度	53	50	63	76	88	82	82	75	85	87	112	61	76.2	25.0%
令和4年度	77	71	83	68	96	100	99	70	10	9	12	14	59.1	19.4%

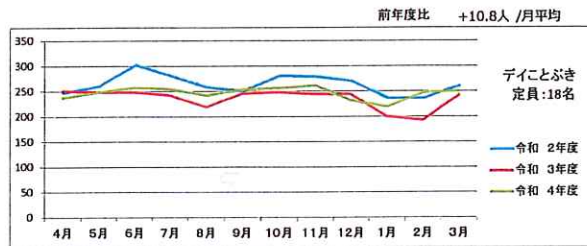
▲ 5.6%



## デイことぶき

デイことぶき	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均(人)	稼働率
令和2年度	248	261	303	282	259	251	281	279	271	237	236	261	264.1	56.6%
令和3年度	252	249	249	243	220	246	249	245	245	201	193	243	236.3	50.5%
令和4年度	238	249	258	255	242	254	257	262	232	220	247	251	247.1	53.1%

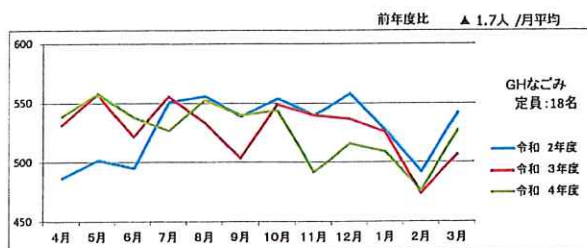
2.6%



## グループホームなごみ

GHなごみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均(人)	稼働率
令和2年度	487	502	495	551	556	539	554	540	558	527	492	542	528.6	96.5%
令和3年度	532	558	522	556	534	504	549	540	537	526	474	507	528.3	96.5%
令和4年度	539	558	538	527	553	540	544	492	516	509	476	527	526.6	96.1%

▲ 0.4%



第202200330301号  
令和5年3月31日

社会福祉法人萌生会  
特別養護老人ホームぎずな 施設長 様

鳥取県西部総合事務所長



令和4年度老人福祉施設指導監査の実施結果について（通知）

老人福祉法第18条に基づき実施した指導監査の結果は下記のとおりです。

このたびは改善報告書の提出を求める文書指摘事項はありませんが、口頭指摘事項について後日、改善状況を確認するために書類等の提出を依頼することがありますので御承知ください。

貴施設におかれましては、法人経理規程、厚生労働省通知等の関係諸規程に留意して、適正な施設の運営に努めていただきますようお願いいたします。

記

文書指摘事項 なし

口頭指摘事項（改善報告書の提出を求めないもの）

	改善を要する事項	指摘内容	改善方法	指摘根拠
1	記録の保存期間	身体拘束廃止に関する指針、苦情対策員会設置要綱において記録の保存期間が2年となっている。	記録の保存期間は5年とすること。	鳥取県養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに関する条例施行規則 別表第1 記録の作成及び保存の項(3)
2	小口現金	小口現金について残高を毎日確認していなかった。	小口現金の残高は毎日確認すること。	社会福祉法人萌生会 経理規程 第29条 残高の確認
3	予算	予算の執行状況が当初予算と一部乖離していた。	補正予算を編成すること。	社会福祉法人萌生会 経理規程 第20条 補正予算

担当 県民福祉局共生社会推進課  
施設指導担当 奈良

電話 0859-31-9314

ファクス 0859-34-1392